

※引き続き、新型コロナやインフルエンザの感染防止へのご協力をお願いいたします。

※「自問タイム」として、「下野新聞読者登壇」(10代の声)への投稿に挑戦しています。是非ご覧下さい!

→これまで、都賀中生の35作品が掲載されています。(2/3現在)



学校だより 若竹

学校教育目標「自ら学び考え行動する生徒」
スローガン～やる気・笑顔・感謝～



2月号 (第32号)

令和7年2月5日

都賀中学校長 倉井 誠(文責)

冬から春へ...月差しも少しずつ強くなり、春の匂いがしてきました...

1月20日の「大寒」が過ぎ、今年は、2月2日が「節分」、そして、その翌日の3日は「立春」でした。一年で最も寒いと言われるこの時期には、「寒仕込み」「寒稽古」という言葉があります。まだまだ、新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症の心配がある中ですが、何とか乗り越えてきました。

「立春」は、冬と春の分かれる「節分」の翌日で、「寒さが明けて、これから春に入る」という日です。しかし、まだまだ寒い日も多く、春が待ち遠しく感じられます。それでも花の蕾は固いながらも確実に膨らみ始め、春に向けた営みが随所で見られるようになってきます。

いよいよ3学期も中盤にさしかかり、学校では、近づいている春の便りとともに、本年度の締めくくりと新年度に向けての準備で忙しい中にも希望が膨らむ時期を迎えています。

3年生は、多くの生徒が私立高校の入試を終え、県立高校の受験に向けた学習、そして卒業に向けての準備も始まろうとしています。2年生は、立志記念スキー宿泊学習が無事実施され、大変実りある行事となり、志を新たにすることができたようです。また、1年生も先輩になることを意識しながら、その心構えや準備をしています。

まだまだ新型コロナウイルスやインフルエンザの心配もあり、油断が許されない状況ですが、今年度の締めくくりや次年度の準備に向けて、それぞれの学年にとって、充実した学校生活を送らせていきたいと思っています。今後とも、本校教育に対しまして、温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度学校評価の成果と課題、今後の取組について

先月の学校だより1月号で、「学校評価」(概要)をお知らせしましたが、その結果を受けて、成果と課題及び今後の取組について、以下のようにまとめました。

本校教育のますますの充実のために、職員一丸となって真摯に取り組んで参ります。今後とも本校教育に対しまして、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

1 成果

- ・生徒は落ち着いた態度で授業に臨んでおり、対話的な活動を積極的に取り入れることにより、表現力の向上を図ることができた。
- ・ねらいを明確にし、導入を工夫することで、わかる授業につなげることができた。
- ・地域に密着した校外活動を実施したことで、ふるさとを愛する心が深まった。
- ・学校全体が優しい雰囲気包まれている。
- ・担当者の工夫により、運動会の半日実施や文化祭の一日開催など、これまでの良いところを生かしつつ、新たな形で実施することができた。
- ・握力計を昇降口付近に常時設置したことは、体力向上に効果的であった。
- ・地域連携教員と地域コーディネーターがしっかりと連携していた。担当者が変わり、新たな取組を複数実施することができた。



2 課題

- ・教員も生徒も「分かる授業」と感じているが、保護者にはそれが伝わっていない。
- ・振り返りはとりあえず書かせるだけになっていないか、内容は適切かなど、教科の枠を超えて検討する必要がある。
- ・家庭学習に関しては、生徒が感じているほど教員や保護者は評価していない。
- ・SNSトラブルが複数あった。学校で見せる思いやりの心をもった友達づきあいが表面上になっている可能性がある。
- ・生活の乱れによる不登校傾向の生徒が多い。心身の調子を整える自己分析と把握が必要である。
- ・学校ホームページの更新が不十分であった。
- ・近年の猛暑の影響なのか、校庭の雑草対策には悩まされた。

3 成果と課題を踏まえた今後の取組

- ・心の面、施設設備の面で、生徒が更に安心安全に過ごせる環境を整えていきたい。

- これからも都賀中学校の生徒の良さを発揮することができるように、生徒の話に傾聴するなど、温かい気持ちで支援していきたい。
- 学校の取組が地域や保護者に充分伝わっていない、理解されていないと思われる結果があるので、理解につがる具体策を考え、実施していきたい。
- 三者の温度差を埋める必要がある。生徒だけが高評価な項目については、思い込みも入っているかもしれないし、基準が低いのかかもしれない。どう指導していくか、学校運営協議会でも意見をいただきながら、教員で議論していきたい。
- 生徒指導、人権、キャリア教育など、様々な要素が含まれている学業指導の充実を図りたい。
- 通常学級における特別支援教育の充実を図っていくことは、喫緊の課題である。すくすくシートの作成、校内支援委員会、校内支援体制の在り方など充実させていく必要があるので、令和4年12月に改訂された生徒指導提要の研究を進めていきたい。
- 共通重点項目を常に意識して小中一貫教育を進めていくことができるよう、都賀ブロック内の連携を更に深めていきたい。

「自ら学び考え行動する生徒」(学校教育目標)の実現のために…

本校の学校教育目標「自ら学び行動する生徒」の実現のために、入学式などの儀式的行事や全校集会、学校行事など、機会を捉えて、関連した話をしています。

そして、自己内対話をし、自分と向き合う時間を確保し、書くことを通して、この達成のために「自己実現タイム」を設定(毎月1回、朝の活動の時間)し、下野新聞読者登壇「10代の声」に投稿をしています。

今後もこの取組を継続し、学校教育目標「自ら学び行動する生徒」の実現のために、生徒たちを支援できればと考えています。以下は今年度の掲載者です。(2/3現在)

- 3年生：****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん(9名)
- 2年生：****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん(13名)
- 1年生：****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん(13名)

第64回「卒業証書授与式」について

3月11日(火)、本校体育館にて挙行いたします。本校職員、全生徒、3年生保護者、ご来賓(****教育委員様、本校学校運営協議会委員様)をお迎えし、今年度は、**卒業生による学年合唱**も実施します。感動的な式になりますよう、皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



【まことーク】 その8 ～「3学期は0学期」(第3学期式辞より)～

…昨年(2022年)の11月初旬に都賀中の花壇に玉葱を植えました。玉葱に限らず、木々の芽や草や花の蕾、これらの植物は、厳しい寒さの中でも、やがて訪れる春に備えて、しっかりと根を張り、栄養を蓄えて、着々と準備をしています。今の時期は1年で最も寒い時期であり、「寒稽古」、「寒仕込み」という言葉もあります。春に綺麗な花を咲かせたり、しっかりと実をつけたりするためにはこの時期の取組が大切だということです。3学期は冬から春にかけて、1年で一番寒さの厳しい時期ですが、植物もそうであるように、私たち人間も花を咲かせる「次のスタート」の準備をする大切な時期です。ですから、「3学期は0学期」という意識を持って生活をして欲しいなと思います。

今年は「巳年」です。蛇は、目標を決めたら努力を惜しまず最後までやりぬく粘り強さを持っていると言われ、また脱皮もします。これまで、自分に甘くなってしまうたり、反省すべき点がある人は、蛇のように自分の殻を破って挑戦し、さらに大きく成長してください。(因みに私は辰年生まれで、妻は巳年生まれです。どう考えても龍の方が蛇より強いと思うのですが、極稀に違うこともあるようで、困ったものです…笑。)

それでは、都賀中の皆さんの今年のさらなる成長と活躍を心から願っています。…

※「まことーク」は、“誠の話”をさせていただいています。

